

《JJN スペシャル》No.87

『「治る力」を引き出す 実践！臨床栄養』

看護の基本そのものである「臨床栄養」の具体的な方法解説書

編：東口高志／定価 3,780 円(本体 3,600 円＋税 5%)

発行：医学書院／TEL：03-3817-5657



「栄養」というと、管理栄養士の仕事では？と言われることがあります。私は、栄養は看護の基本そのものであると考えています。ナイチンゲールは、「看護とは患者の生命力の消耗を最小限にするように整えること」とであると唱えています。すべての人には自然治癒力があって、治ろうとする力を持っています。それに働きかけるのが看護です。栄養状態を整えることは、患者の生命力を引き出すことに繋がります。その意味で、この本のタイトルでもある「治る力」を引き出す」というのは看護の本質に他なりません。

臨床現場では今、栄養管理が浸透しつつあります。栄養管理をチームで行う NST(栄養サポートチーム)の必要性が認知され、診療報酬改定により平成 18 年度には栄養管理実施加算、今年度は栄養サポートチーム加算が新設されました。栄養管理は医療現場において注目をあびているものの一つと言えるでしょう。現在の看護基礎教育では、「代謝・栄養学」についてわずか 2～4 単位しか割り当てられておらず、看護にとって重要な科目だと認識されているとは言えません。また新卒看護師の看護基本技術に関する実態調査でも疾患別の食事指導や栄養状態のアセスメントといった栄養に関わる項目は一人で実施できる割合が低い結果であり、学習の効果が表れているとは言えません。著者らが述べているように看護師は、栄養管理を

ベツトサイドで行う最終的な実行者です。看護基礎教育や卒後教育においてもっと力を入れていくべき分野であると考えます。

本書は、わが国における NST の第一人者である東口高志先生をはじめ、各領域で活躍されているさまざまな分野の先生が臨床に即して執筆されています。臨床栄養の基礎から応用まで網羅されており、初心者はもちろん、熟練者にも読み応えのある充実した内容になっています。本を開いてまず目についたのは、図や表がカラフルで見やすくわかりやすいことです。学生や新人看護師にとって難しいと思われるような言葉については NOTE として注釈が多数あげられており、理解に役立ちます。学習する上ではただ丸暗記していくのではすぐ忘れてしまいますが、なぜなのかその意味を理解することによって、しっかりと自分のものにし、どのような時も応用できる力がつきます。看護師に苦手意識の強い代謝学や生理学に基づく根拠が随時盛り込まれ、なぜなのかその「根拠」と何を、どれだけ、どこから、どのようにしたらよいのか「方法」が具体的にわかりやすく提示されています。この本は、これから「栄養学」をしっかりと身につけたいと思う看護師や学生に適しています。また看護教員にとっても授業などにおいて活用できそうな図やイラストが多数含まれており、役立つ 1 冊になるはずです。